

発行人 日本国特許庁（国際調査機関）

出願代理人
小越 勇

あて名

〒 105-0002
東京都港区愛宕一丁目2番2号
虎ノ門9森ビル3階
小越国際特許事務所

様

PCT
国際調査機関の見解書
(法施行規則第40条の2)
(PCT規則43の2.1)発送日
(日.月.年)

15.03.2005

出願人又は代理人
の書類記号 TU04-1109W01

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号
PCT/J P 2004/017744国際出願日
(日.月.年) 30.11.2004優先日
(日.月.年) 25.12.2003国際特許分類 (IPC) Int. Cl⁷ C23C14/34, C22C9/00, C22C9/06出願人 (氏名又は名称)
株式会社 日鉱マテリアルズ

1. この見解書は次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 見解の基礎
☐ 第II欄 優先権
☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
☒ 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
☐ 第VI欄 ある種の引用文献
☐ 第VII欄 国際出願の不備
☒ 第VIII欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日

28.02.2005

名称及びあて先
日本国特許庁 (ISA/J P)
郵便番号 100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)
吉田 直裕

4 G 3028

電話番号 03-3581-1101 内線 3416

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-6	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 1-6	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-6	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明

文献1: YUTAKA KOSHIBA, et al., Mitsubishi materials' high performance oxygen free copper and high performance alloys, SECOND INTERNATIONAL CONFERENCE ON PROCESSING MATERIALS FOR PROPERTIES, 2000, p. 101-104

文献2: JP 03-079734 A (住友金属鉱山伸銅販売株式会社) 1991.04.04,
特許請求の範囲 (ファミリーなし)

文献3: JP 01-180975 A (田中貴金属工業株式会社) 1989.07.18,
特許請求の範囲 (ファミリーなし)

文献4: JP 11-236665 A (株式会社ジャパンエナジー) 1999.08.31,
特許請求の範囲 & WO 01/00899 A1

文献5: JP 2001-329362 A (株式会社日鉱マテリアルズ) 2001.11.27,
特許請求の範囲 (ファミリーなし)

請求の範囲 1-6

請求の範囲 1-6 に記載された発明は、国際調査報告で引用された何れの文献にも開示されておらず、新規性及び進歩性を有する。特に、Be: 0.2~0.5 wt% を含有する低ベリリウム銅合金からなるバックリングプレート、又は、Ni: 2~4 wt%, Si: 0.3~0.9 wt% を含有するCu-Ni-Si合金からなるバックリングプレート、若しくはNi: 2~4 wt%, Si: 0.3~0.9 wt% を含有するCu-Ni-Si系合金からなるバックリングプレートを用いる点は、当業者といえども容易に想到し得ないことである。

第Ⅷ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

(A) 請求の範囲1には、「Ni: 2~4wt%、Si: 0.3~0.9wt%を含有するCu-Ni-Si合金若しくはCu-Ni-Si系合金」と記載されているが、当該記載が、「Ni: 2~4wt%、Si: 0.3~0.9wt%を含有するCu-Ni-Si合金、若しくは成分量が特に特定されないCu-Ni-Si系合金」を意味しているのか、「Ni: 2~4wt%、Si: 0.3~0.9wt%を含有するCu-Ni-Si合金、若しくはNi: 2~4wt%、Si: 0.3~0.9wt%を含有するCu-Ni-Si系合金」を意味しているのか明確でない。

(明細書の特に比較例11からみて、当該記載は、「Ni: 2~4wt%、Si: 0.3~0.9wt%を含有するCu-Ni-Si合金、若しくはNi: 2~4wt%、Si: 0.3~0.9wt%を含有するCu-Ni-Si系合金」を意味すると考えられるので、その点を明確にされたい。)

(B) 請求の範囲3に係る発明の銅合金バックリングプレートは、「導電率35~60% (IACS)、0.2%耐力400~850MPa」という特性を有するあらゆる銅合金を包含するものであるが、発明の詳細な説明に開示されているのは、特定の組成を有する銅合金(請求の範囲1において特定したもの)のみである。したがって、請求の範囲3に係る発明は、明細書において発明として記載した範囲を超えており、明細書によって十分に裏付けされたものでない。